都市計画の案の理由書

1 種類・名称

東京都市計画道路 都市高速道路第1号線

2 理由

都市高速道路第1号線は、神奈川県境の大田区羽田三丁目を起点とし、品川区、港区、中央区、千代田区を経由して台東区北上野一丁目に至る延長約21.9キロメートルの路線である。

首都高速都心環状線築地川区間では、建設後60年が経過しており、擁壁のコンクリートの剥離や鉄筋の腐食が顕著であるとともに、建設当時の基準で建設されており、強度も不足している。このため、現行基準に合った擁壁に造り替える更新事業を実施予定であり、更新事業に併せ、急カーブの解消や道路上部空間の活用など、周辺まちづくりと連携した更新計画が検討されている。また、新京橋連結路や高速晴海線との接続を見据え、分合流部において、付加車線を設置する方向性としている。

こうした中、築地川区間の万年橋から三吉橋までの区間において、首都高速道路株式会社と中央区が連携し、更新事業と併せて掘割部を蓋掛けすることより、高速道路の上部空間を活用した、憩いとにぎわいの場となるみどり豊かな都市空間を創出する方針が示された。

こうしたことから、本計画は、築地川区間のうち、万年橋付近から亀井橋付近までの区間において、現行基準に合った擁壁へ造り替えるとともに、付加車線の設置に向けた空間確保や道路上部空間の活用を図るため、都市計画区域を一部変更するものである。